

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年12月28日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		法令で定められた基準値以上の広さもあり、療育と余暇の部屋を分けています。	利用児童一人当たりの広さは法定基準を十分満たしているため、活動に応じて配置を工夫し、より良い環境づくりに努めてまいります。
	2	○		現在児発管1名、保育士3名、児童指導員3名が在籍しており、配置基準以上の人員を配置しています。	今後も同様に適切な人員を確保・配置してまいります。
	3	○		室内は、児童にわかりやすい構造で対応しております。バリアフリーは今後の検討課題ですが、児童が移動する際には職員が一緒に行動するなど、安全に配慮しています。	今後も職員間で討議し、工夫を重ね、可能な範囲で改善し、より良い環境を目指します。
	4	○		毎日事業所内の清掃を丁寧におこない、机・いす・玩具・ドアノブ等も除菌、消毒を徹底しています。	コロナ禍の対応としてマスクの着用・手洗い・三密を避けるなど感染症予防策を行っています。今後も児童が活動しやすく清潔な衛生管理を徹底し、心地よく過ごせる空間作りを継続してまいります。
業務改善	5	○		定期的に職員全体でミーティングやリフレクション会議などで情報交換や情報共有・振り返り、業務改善を進めています。	今後も継続して定期的な会議で業務改善について話し合い、ミーティングやリフレクション会議に参加できなかった職員には、内容をノートに記載して情報共有をしています。
	6	○		年一回アンケートを実施し、保護者様にご記入いただいたご意見を全職員で共有、検討し、業務改善に努めています。	今回いただいたアンケート結果を踏まえて、職員間で話し合い、できることから業務改善を実施してまいります。
	7	○		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公開してまいります。
	8	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	○		年間研修計画を年度初めに計画し、毎月研修を実施し、職員の質の向上、意識の向上に努めています。	今後も継続して研修を実施し、職員の質の向上を図ってまいります。
	10	○		定期的にアセスメントを実施し、適切に児童の状態や保護者様のご意向を確認し、それを踏まえて計画を作成しています。	今後も保護者様のご意向を踏まえた支援計画を作成し、日々の児童や保護者様との関わりの中でニーズや課題を検討してまいります。
	11	○		統一化されたアセスメントシートを使用し、適応行動の状況を把握し、活用しています。	今後も継続して適切にアセスメントを実施し、適応行動の状況を確認してまいります。
	12	○		児童の状況やモニタリング時、送迎時の面談等で得たニーズを職員間で話し合い、児童発達支援ガイドラインから必要な項目を選択し、児童に適切な支援計画を作成しています。	今後も適宜モニタリング、担当者会議等で見直しを行い、児童・保護者様のご意向を踏まえ、ガイドラインに沿って、具体的な支援内容を勘案し、個別支援計画を作成してまいります。
	13	○		支援計画を踏まえ、職員全員が共通認識を持って支援に取り組んでいます。	今後も児童発達支援計画に沿った支援が行われるよう努めてまいります。
	14	○		児童の特性や課題を職員間で共有し共通理解のもと個々の児童の状態に合わせたプログラムをチームで立案しています。	今後も活動プログラムは随時、チームで立案・計画してまいります。
	15	○		職員全員で意見を出し合いながら、プログラムが固定化しないよう工夫をしています。	今後も全職員で話し合いを継続し、児童が意欲的に活動できる内容になるよう努めてまいります。
	16	○		個別活動、集団活動、特性や発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて計画的に組み込んでいます。	今後も適切に、個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画を立案してまいります。
	17	○		前日の様子や当日の支援内容、役割分担の確認等、職員間で話し合い、情報交換をおこなっています。	今後も職員間で連携を図り、当日の流れ、支援内容や役割分担について情報共有のうえ、支援に取り組んでまいります。
	18	○		支援終了後は送迎もあり、全職員が集まるのが難しい為、当日の支援の振り返りや、気付いた点等を共有しています。	今後も共通認識に努め、報告・連絡・相談を徹底してまいります。
	19	○		毎日記録に残し、すぐに検証と改善ができるように心がけています。	今後も継続して記録の記載を徹底し、より良い支援に繋げてまいります。
	20	○		半年以内に必ずモニタリングをおこない、保護者様のニーズと、児童の現状を把握し、計画の見直しをしています。	今後も必要に応じて、期間を問わずモニタリングを実施し、計画の見直しをおこなってまいります。
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	今後も児童発達支援管理責任者が参加し、支援に活かしてまいります。
	22	○		ケースに応じて各関係機関と連携を取り、統一した支援がおこなえるように努めています。	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるように努めてまいります。
	23	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		関係機関との担当者会議で情報提供や共有を図り、支援の方針が統一されるように努めています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	26	○		必要に応じて就学の際には移行先を交えて担当者会議を行い、事業所内の様子をお伝えして、支援の方針が統一されるよう、情報共有と相互理解に努めています。	今後も保護者様の同意を得て、支援の見学を受け入れ、電話連絡などで相互理解を図り、児童の課題に向き合い、連携を深めてまいります。
	27	○		センターとは情報交換をおこない、助言を受けており、児童が併用している他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っています。	今後も積極的に連携を図り、研修や助言を受け、併用利用の事業所とも繋がりを絶やさず努めてまいります。
	28	○		現時点では事業所主催の交流の機会を企画できていません。	コロナ収束後に、保護者様のご意向を伺いながら、交流機会を検討してまいります。
	29	○		今年度はコロナ禍の影響で会議等への参加はできていません	コロナ収束後積極的に協議会へ参加し、連携の強化に努めてまいります。
	30	○		日頃より、送迎時や家庭連携等で、児童の様子や状況を保護者様に伝え、発達の課題について共通理解を持つようにしています。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り共通理解に努めてまいります。
	31	○		ペアレントトレーニングという形式での支援はしておりませんが、保護者様の悩みや困りごとを伺い、児童との関わり方についてアドバイスをさせていただいております。	今後も継続して保護者様のお悩みに寄り添う支援に努めてまいります。
	32	○		契約時は、保護者様が分かりやすいように配慮しながら説明しています。説明時には質問や不明点がないか確認しながら進めています。	今後も引き続き、分かりやすく丁寧な説明を心掛けてまいります。
保護者への説明責任等	33	○		ガイドラインに基づいた支援計画を作成してしています。保護者様への支援計画の説明は、分かりやすい言葉での説明を心がけ、保護者様の同意を得ています。	今後も同様にご意見を伺いながら、説明を心掛けてまいります。
	34	○		家庭連携や日々の送迎時等でご相談を受けた際は、保護者様のお気持ちに寄り添いながら、助言をおこない、支援に繋げています。	いつでも子育てのお悩みにみならず、いつでも子育てのお悩みにみならず、助言を続け、保護者様から話しかけやすい環境を心掛けて、寄り添えるように努めてまいります。
	35	○		今年度は、コロナ禍のため父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	コロナ収束後、ご意見を伺いながら、保護者様参加型の行事等の機会を検討してまいります。
	36	○		相談や申し入れがあった場合はすぐに職員間で話し合い、迅速に対応しています。また、苦情窓口と責任者を配置し、ご意見書も設置し、広くご意見を求めています。	今後もご意見にできるだけ迅速に対応し、必要に応じて家庭訪問等で早期解決に努めてまいります。
	37	○		公式 Web サイトのブログは隔月で事業所の様子をお伝えしており、公式 LINE アカウントでブログの更新は告知し、年4回季刊誌を発行しています。	今後も継続して情報発信し、保護者様にその都度ご案内し、より多くの方に活動内容を知っていただけるように努めてまいります。
	38	○		個人情報の取扱いは徹底しており、関連書類は全て書庫に保管しています。また、書類の破棄は、シュレッダーを利用しています。	個人情報は今後も細心の注意を払い、取り扱いや保管を行ってまいります。
	39	○		児童や保護者様の状況に合わせて、十分に配慮した情報伝達手段で意思の疎通を図っています。	今後も児童一人ひとりの特性や保護者様の状況を考えて、情報伝達や意思疎通に配慮してまいります。
	40	○		今年度は、コロナ感染症予防の観点から、行事に地域住民をご招待する企画には至りませんでした。	コロナ収束後は保護者様のご意向を伺い地域のイベントに児童と参加し、事業所にお招きするなど、近隣の方々との交流機会を設けていきます。
非常時等の対応	41	○		事業所内にマニュアルや対策を掲示し、保護者様にもお伝えしています。また年間計画を立てて訓練を実施しています。	掲示場所を再度ご案内し、訓練実施の際には、連絡帳等で保護者様への事前連絡をおこなってまいります。
	42	○		年度初めに年間計画を立て、定期的に様々な災害を想定した訓練を実施しています。	今後も定期的な訓練を実施し、訓練後には改善点を話し合い、命を守る行動に繋げてまいります。
	43	○		アセスメント実施の際、聞き取りをしています。発作時の対応は保護者様より詳しくお聞きし、全職員に周知徹底しています。	事前の情報収集と職員への周知、定期的な振り返りを今後も継続してまいります。
	44	○		アレルギーについては契約時に保護者様から聞き取り、全職員で情報共有を徹底しています。	今後も職員への周知を徹底し、食物の提供をおこなう場合は、細心の注意を実施してまいります。
	45	○		ヒヤリハット報告書を作成し、職員で共有しています。発生時は振り返り、再発防止に努めています。	今後も継続してヒヤリハット事例を記録し、職員間での情報共有と認識一致に努め、再発防止に繋げてまいります。
	46	○		虐待防止研修を年間計画に盛り込み、研修資料を元に虐待防止に関する勉強会を実施しています。	今後も継続して、虐待防止について研修を実施し、職員の意識向上に努めてまいります。
	47	○		利用契約書には、身体拘束の禁止が記載されています。現時点では該当者はいませんが、生命または身体を保護する必要がある場合、やむを得ず身体拘束を行う場合は、書面にて保護者様の同意を得ることとしております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢をとり、やむを得ず身体拘束を行うときはあらかじめ書面により保護者様から同意をいただいているため個別支援計画に記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。